

Graphic Recording

コシナシ → 合意形成

具体的イメージに落とし取れ consensus を取る。

コシニケル → この歯目歯。

aim) 視覚情報を用いて行う。

English → 5W1H

Japanese → 行動主体を省略することがある。

★ 論理力とデフォルメ力が重要。

演習) Write down the word that you think is important in the following sentences.

3行日記

↳ ルー ル

今日の日記を書いた。 → 日記のサイクル。

(day cycle)

行き先がわからない。

潜在意識にスイッチを入れる。

↳ <switch> is better.

⇒ turn off the switch of your heart

ex) running

自分の特徴)

インテリが多い、矢印が多い、
絵が嫌い。

2. デフォルメ力



お題

下村のシマツマシロを看た。
ショートボブの女子。

point) 他人に伝わりこと。



こまごま書かない。

女の子のかわかんない (abstract する)。

※ 人を書く。

1. $\frac{\text{上}}{\text{下}}$ \leftarrow \cup \cap

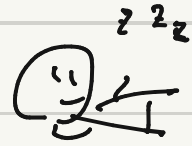
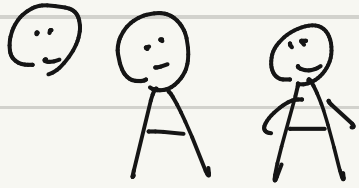


表情 Matrix を使う。

2. 目と鼻の位置



3. 人の身体はAを使うといい.



重みをつける.

☆ グラレコで行っていること.

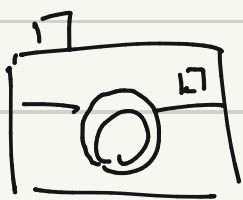
止まったものを描く.

or . 動きをつけて表現する.

下 止まったものを描く

カタチ = イミ

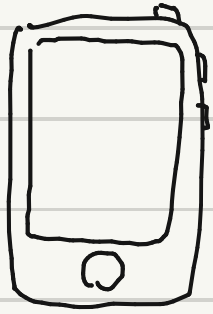
「カタチを変えれば任意のものを表現できる」



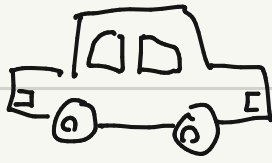
に分解できる.

演習) 15秒で書いてみる。

iphone



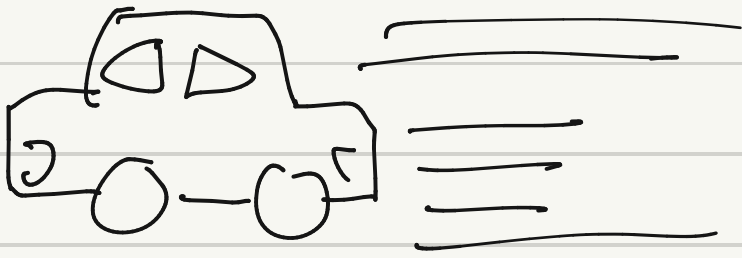
自動車



ミカ-



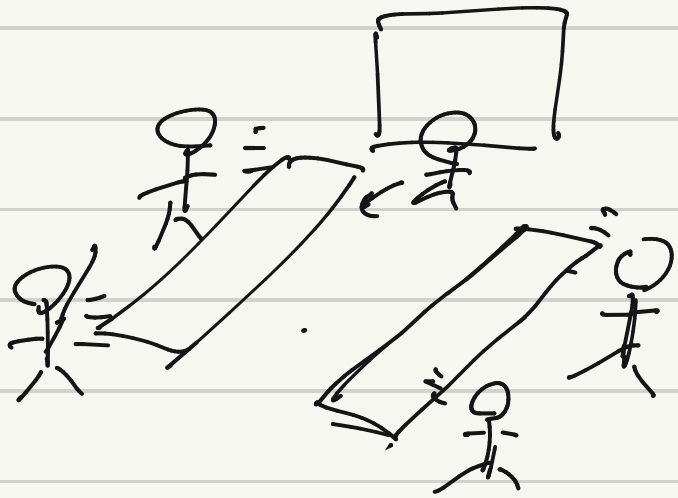
100kmで走ってる自動車



音楽を聞く通勤人



キロン

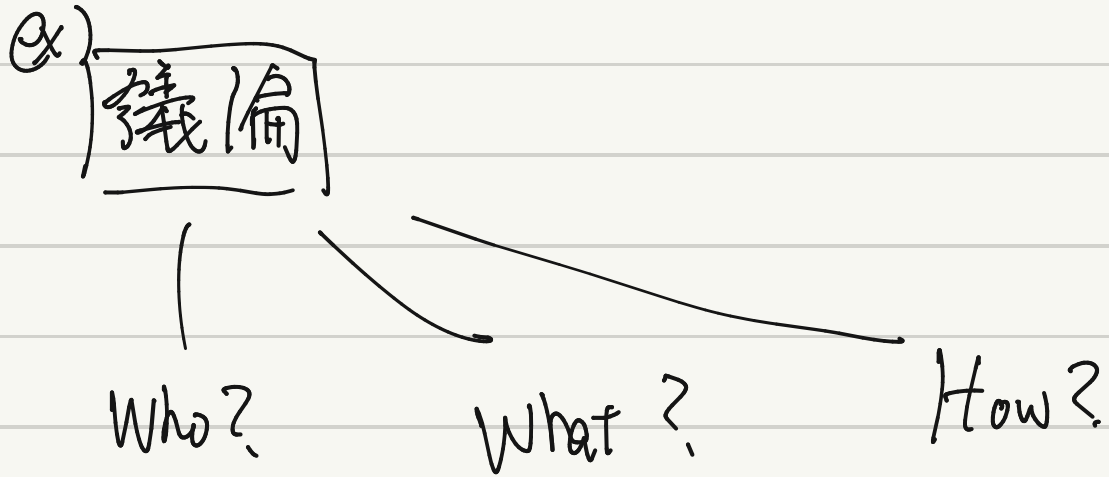


議論をどうとらえているかで
書き方が変わるらしい。

今は、形を分解することにしよう。

カチ = イミ

↓
形がないものは意味を分解する。



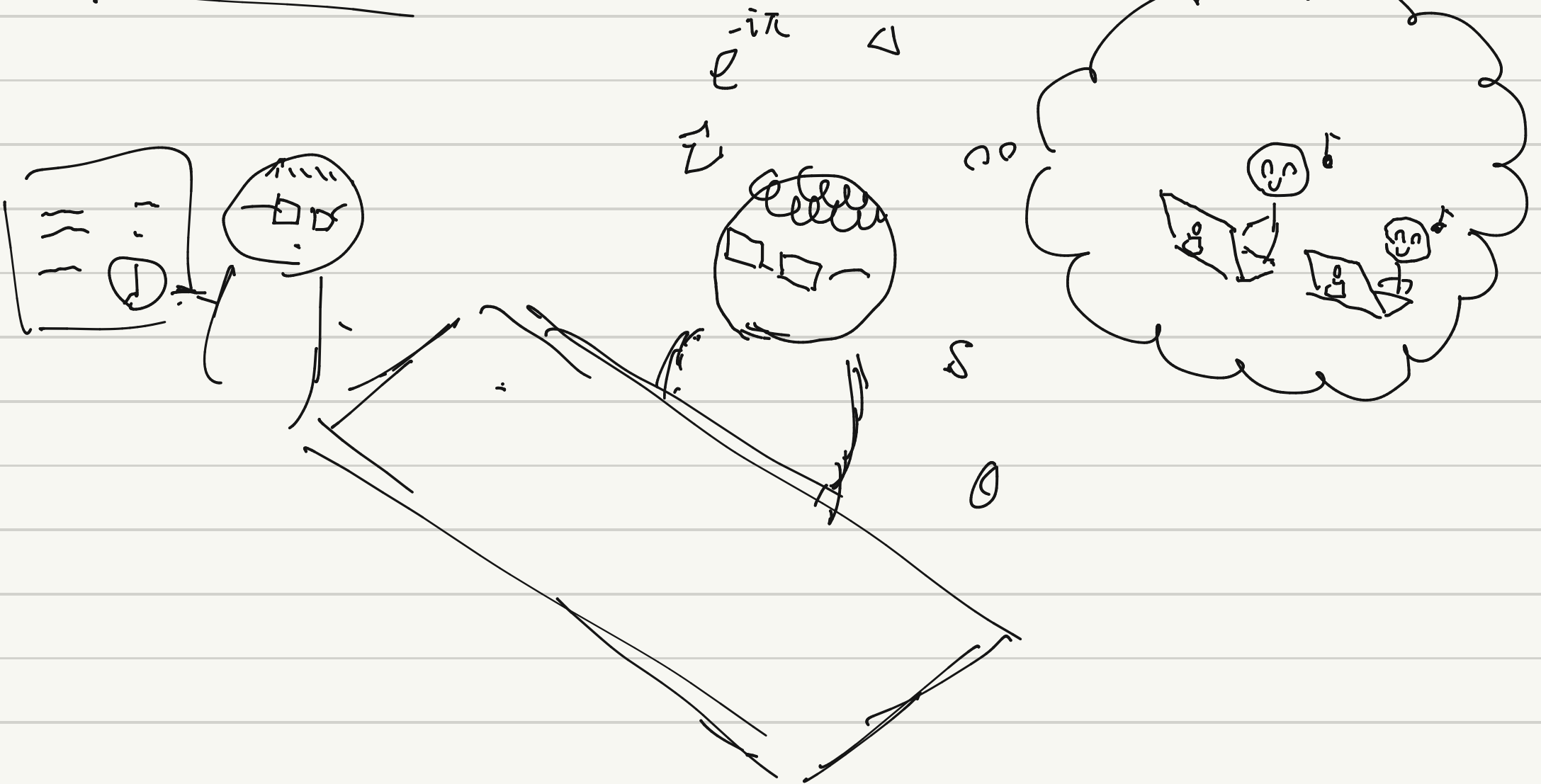
演習

専攻内容をわかりやすく説明するための絵を描こう。
興味分野

研究者の
教学理論家

コンピュ-タ-
セキリ 1/4

論に



言葉をつけてもよい! (伝わりやすさ)

2. 動きをつけて表現する.

① 吹き出しと符号を使う, 関係性やテンションを示す.



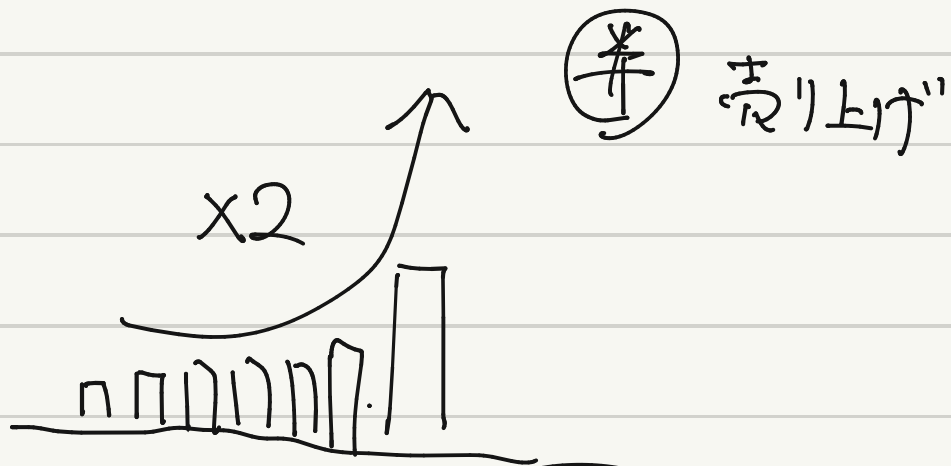
(基本的にフローの流木の記録はマールールになる)

② 対比関係や変化を描いて動作を表現する.

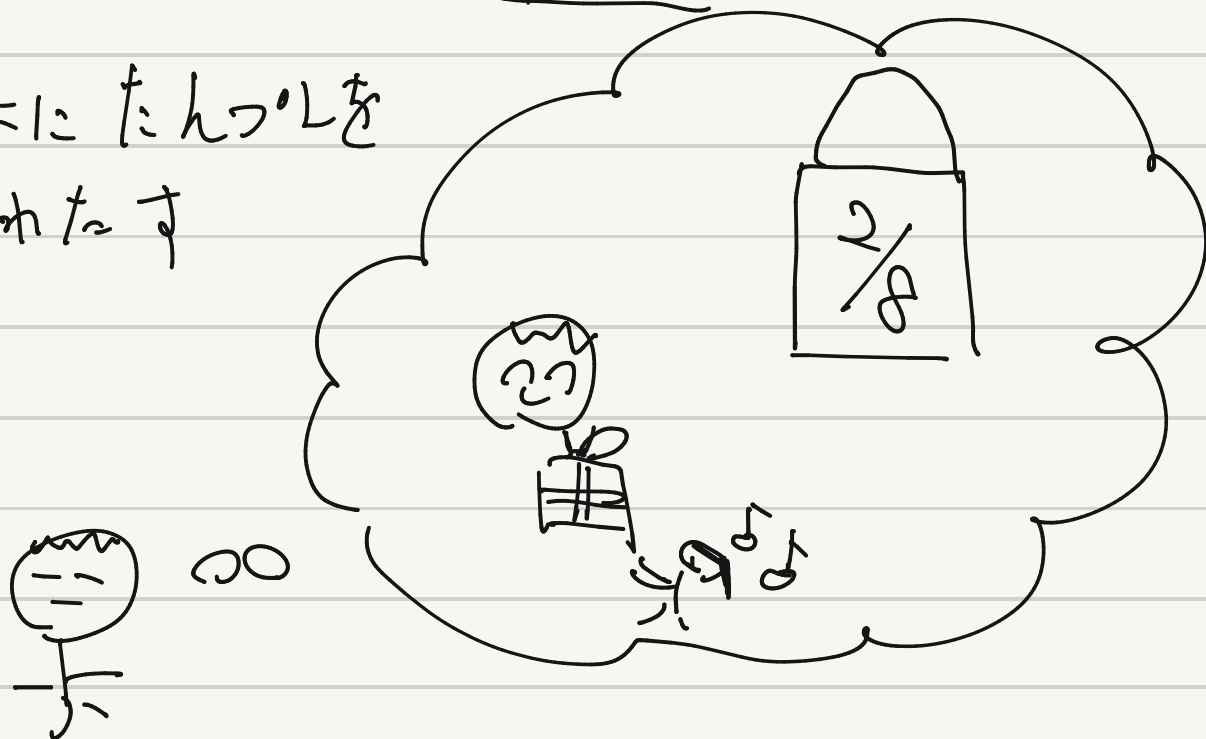
(自分の中でLINEのスタンプのようなものを作っておくと、素早くメモを取る事ができる)

演習)

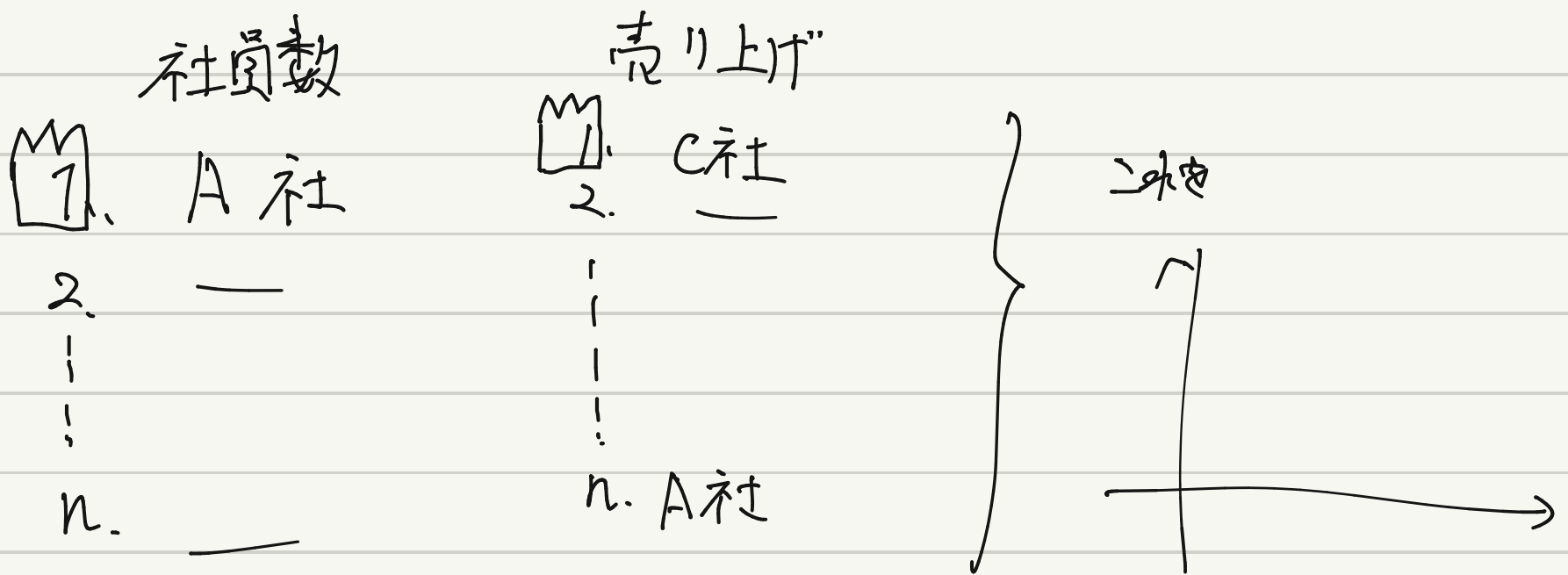
1) 我成社の今年の売り上げは去年の2倍.



2) 2/8に妹にたんぽろを
わたす



3) A社は社員数Max 売上げ最低 売上げト、アはC社



↑
B社の売上げは少ない? と気づくことかでは?

ともできた。
(どちらがbetterというわけでは
ないが、これが書きぐせ)

複雑な話でも分けていくことで表現。

* 流れる情報を捉えるコツ

重要そうなキーワードやシンボルに着目し書き留める。

近いものは近くにおせてプロットとする。

色や囲むものの違いで

暖色: ホイットとナゾの ↔ それの補色: 対比に用いる。

• タイムラインを打印したい ⇒ 日付系あり。

• 発言の構造を可視化した ⇒ 構造化、生語

☆. アイデア発想の「ロジック」思考に活用してみる。

事例分析. に用いてみる。

「絵にできる」⇒ 良い抽象度である。」

↳ 「ロジック」しやすい。

→ これまで「言語化」しなかった抽象度という軸。

☆ 「ブレインストーミング」

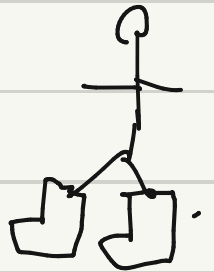
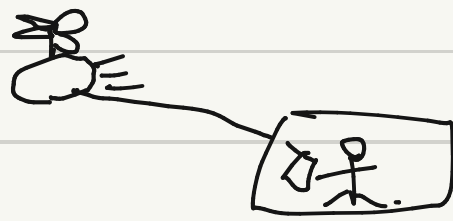
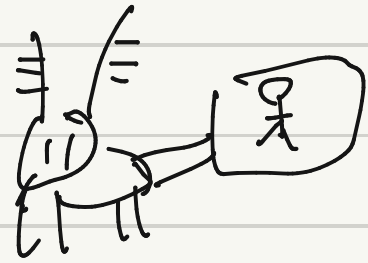
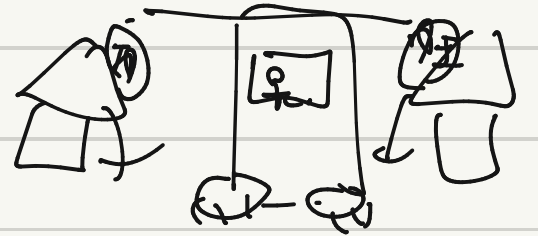
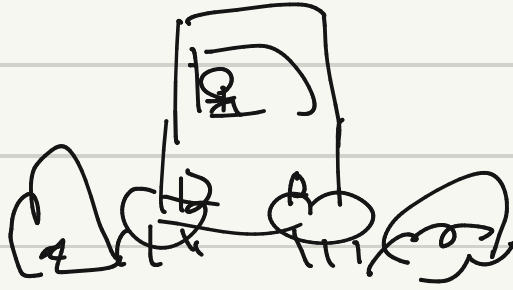
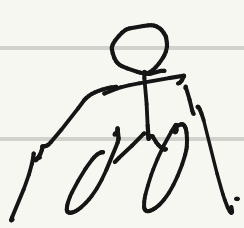
1. Defer judgement
2. Encourage wild idea
3. Build on the ideas of others
4. Stay FOCUS on Topic
5. One Conversation at a time
6. Be visual
7. Go for quantity.

言葉を自由に使うには フリストは

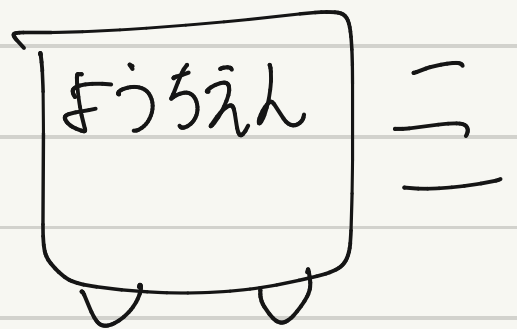
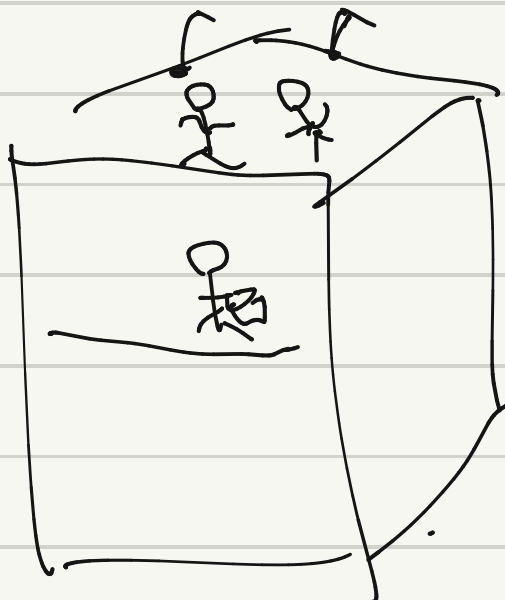
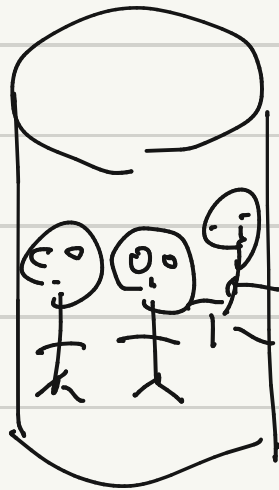
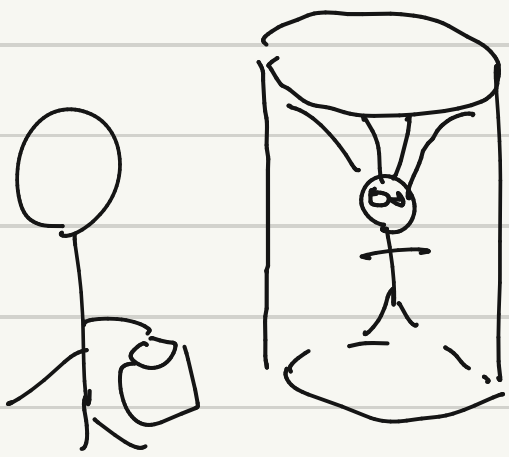
書いたものに触発されて書く。

困った言葉に戻して。

演習) 豪雪地域での新しい移動手段。



演習) 働く親の画期的な子育て方法。



グラフ。

→ 何種類かある。

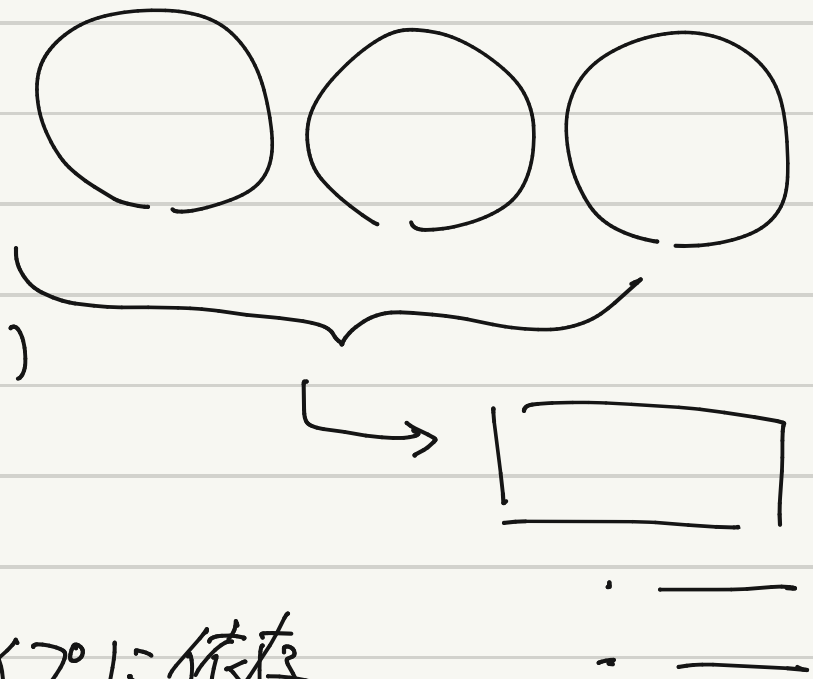
→ (自分のくせとして) 文字が多い。

ただ、右の図のような

表現でも、グラフの一種ではあり。

このようにすざだけでもいい。

(自分の理解のためのグラフなら)



• 人に伝えるグラフ。

→ この場合は、相手の認知タイプに依存。

認知 { 言語的
画像的
身体的

• 物事の構造的類似性は見やすい。

• 言葉の形容詞をつけたり
など ← → 絵のデフォルメ